

教科	国語	科目	現代文	単位数	3	実施クラス	3年7組
单元名	国語表現（ディベート）						

1. 授業（単元）で扱う目標・内容について

①本授業の目標（能力向上をねらいとする）Step を 、特にねらいとするものを で示しています。

Step	発想	課題・仮説設定	調査・実験計画	データ取得・処理	研究遂行,考察	表現・発表
6	複数の考えを組み合わせながら、自分の発想を再考し、新しい価値を生み出すことができる。	実験・調査結果から新しい課題を見つけ、仮説を設定することができる。	課題や期間に合わせた、適切な実験・調査計画を立案することができる。	与えられたデータを統計的に分析し、分析結果を言語化できる。	必要に応じて外部と協力しながら研究ができる。	グローバルに発信・発表ができる。
5	他者とアイデアを討論し、より良いものにしていくことができる。	仮説が適当なものがあるかを判断することができる。	先行研究を参考に、新たな見解や視点を見いだすことができる。	課題を検証するための、データの取得・分析方法を検討することができる。	課題を解決するために、仮説⇒検証を繰り返すことができる。	論理的に矛盾のない文章が書ける。論文の執筆ができる。
4	知見・知識を統合して、アイデアを見いだすことができる。	疑問に対して仮説を設定することができる。	課題に対する先行研究の調査を行うことができる。	与えられたデータの代表値、分散、相関係数等を調べられる。	得られた結果と仮説が対応するかしないかを正しく判断できる。	スライド・ポスター等を使って発表することができる。
3	身の回りの現象について自分の興味のあることを調べることができる。	調べた結果に、新たな疑問を持つ。	仮説を検証するための手段・機材を検討することができる。	実験・調査を再現できるように研究記録を正確に取ることができる。	実験・調査の条件を再検討し、調整する事ができる。	スライド、ポスター等の発表資料を作成することができる。
2	身の回りの様々な現象を比較して、違いを見つけていることができる。	書籍やインターネットを用いて疑問について調べることができる。	基本的な実験・調査技術を習得している。器具、操作の原理を理解している。	主張したい事柄に応じて適切なグラフを選択できる。	実験・調査の結果から何がわかったのかを理解することができる。	自分の意見や考えを、レポート等にまとめることができる。
1	日常の様々な出来事に興味を持ち、対象をよく観察することができる。	様々な現象に疑問を持つことができる。	実験・調査の手順を理解している。実験の結果を正しく読み取ることができる。	グラフの読み取りができる。数値とグラフの種類が与えられれば、書くことができる。	計画に基づき、手順通りに実験・調査を行うことができる。	自分の意見を持ち、失敗を恐れずに表現できる。

②本授業（単元）で習得すべき内容

<ol style="list-style-type: none"> ディベートを通して集団的なコミュニケーション力を高める。 データ収集から分析、まとめまでの活動でメディアリテラシー能力を養う。 問題点を発見し解決への道を探る批判力を養う。
--

2. 1の目標・内容を達成できたかを判断する「規準」と「方法」

<p>規準：ディベートを形式だけではなく内容的に充実したものにできる。</p> <p>方法：発表の内容・討議の適切さ、ディベート後の自己評価と相互評価。</p>
--

3. 具体的な授業におけるチャレンジ（教材・発問・学習活動・めあて・ふりかえりなど）

<ol style="list-style-type: none"> テーマは「東京オリンピックをするべきである」賛成と反対に分かれてディベートを行う。 活動をしやすいように部活動ごとのグループによる対決を設定する。 授業者による評価は、各段階ごとに行う。

4. 授業の展開

時間	学習内容と活動		指導上の留意点・評価
2	ディバートの説明とグループ分け	授業の目的と方法を伝えNHKの通信教育のビデオをみせる。	わかりやすい説明をするために、できる限りビジュアル教材を使う。 部活ごとにグループを作り、 1 賛成派3クラブ、反対派3クラブに分ける。 2 3クラブはそれぞれ別紙のとおり分担する。 3 準備は3時間を予定することを伝える。 2時間は資料準備、1時間はまとめ。 反論を予想して作戦を準備することの重要性を伝える。また、今回は授業者ではなく、外部から評価者を加えることを伝える。(本校教員2名)
3	PC教室を使い資料準備	PC教室の使用法、PCの使用法の説明 資料の収集	それぞれの段階で情報担当の先生の協力を得てアドバイスをする。 何をどのように調べるのかは各班の自主性を重んじて必要以上に立ち入らないようにする。
1	ディバート	会議室をアレンジする。	プロジェクターによりタイムテーブルの表示、時間の計測の表示等を行う。

※ 最終的には非常に高い評価になった。

5. 授業プリント等（準備物の一部を紹介）

2020_0207_debate_timetable

ディバートのタイムテーブル

- 8:40 1 はじめの言葉・注意事項（司会）
- 2 審査員紹介（司会）
- 8:45 3 立論
 - ・肯定側の立論（2分30秒）
 - ・否定側の立論（2分30秒）
- 8:52 4 作戦タイム（3分）
- 8:55 5 反論1
 - ・否定側から肯定側（2分30秒）
 - ・肯定側から否定側（2分30秒）
- 9:07 6 作戦タイム（3分）
- 9:10 7 反論2（反論1に同じ）
- 9:17 8 作戦タイム（3分）
- 9:20 9 最終弁論
 - ・肯定側（2分30秒）
 - ・否定側（2分30秒）
- 9:30 10 審査

ディベートシナリオ

1 はじめの言葉（司会）

「これからディベートを始めます。まず、簡単に進行上のルールを説明します。試合は立論2分30秒間、反論がそれぞれ2分30秒間、最終弁論2分30秒間です。作戦タイムは3回あります。それぞれ3分です。」

注意事項（司会）

「司会者が『始めてください』と言ったら、話を始めてください。ここから時間がカウントされます。決められた時間を守って下さい。もし、ブザーが鳴ったら簡単にまとめて終わりにして下さい。感情的にならずに発表や質問して下さい。多くの人が発言しましょう。討論会が終わるまで、立場を変えないで下さい。同じ内容の質問を繰り返さないようにして下さい。発表は大きな声で堂々で行いましょう。」

それから皆様にお願ひがあります。肯定側・否定側それぞれに与えられた論述時間内には、声援や拍手をしないように願ひします。」

2 審査員紹介

「それでは審査を務めてくださる先生方を紹介します。どうぞよろしく願ひします。」

3 立論

・肯定側の立論（2分30秒） 「肯定側、立論をお願いします。時間は2分30秒です。…始めてください。」

・否定側の立論（2分30秒） 「否定側、立論をお願いします。時間は2分30秒です。…始めてください。」

4 作戦タイム（3分） 「3分間の作戦タイムです。審判は判定表に評価を記入して下さい。」

5 反論1

・否定側から肯定側（2分30秒） 「否定側、2分30秒の反論をお願いします。…始めてください。」

・肯定側から否定側（2分30秒） 「肯定側、2分30秒の反論をお願いします。…始めてください。」

6 作戦タイム（3分） 「3分間の作戦タイムです。審判は判定表に評価を記入して下さい。」

7 反論2

・否定側から肯定側（2分30秒） 「否定側、反論をお願いします。時間は2分30秒です。…始めてください。」

・肯定側から否定側（2分30秒） 「肯定側、反論をお願いします。時間は2分30秒です。…始めてください。」

8 作戦タイム（3分） 「3分間の作戦タイムです。審判は判定表に評価を記入して下さい。」

9 最終弁論

・肯定側（2分30秒） 「肯定側、最終弁論をお願いします。時間は2分30秒です。…始めてください。」

・否定側（2分30秒） 「否定側、最終弁論をお願いします。時間は2分30秒です。…始めてください。」

10 審議

「これですべて終了します。審判は集計をお願いします。」

「それでは、審判は、判定とその理由をお願いします。」

ディベートのヒント

3 立論プランシート

①肯定側 これから「東京オリンピックは開催すべきである。」という論題で、肯定側立論を始めます。

理由を（ ）点述べます。

一つは（ ）です。

二つ目は（ ）です。

三つ目は（ ）です。

（証拠資料引用）だから、とても重要なのです。＊証拠資料引用

これで、肯定側立論を終わります。

②否定側 これから「東京オリンピックは開催すべきである。」という論題で、否定側立論を始めます。

理由を（ ）点述べます。

一つは（ ）です。

二つ目は（ ）です。

三つ目は（ ）です。

（証拠資料引用）だから、とても重要なのです。＊証拠資料引用

これで、否定側立論を終わります。

予想される肯定側の主張

-
-

予想される否定側の主張

-
-

5・6 **反論プランシート**

(2) 【否定側】

1点目。肯定側は、立論で、()と言いました。しかしそれは重要ではありません。なぜならば、()だからです。(資料を引用して)したがって、重要ではありません。

※2点目以降同じ

これで否定側の反論を終わります。

(2) 【肯定側】

1点目。否定側は、立論で、()と言いました。しかしそれは重要ではありません。なぜならば、()だからです。(資料を引用して)したがって、重要ではありません。

※2点目以降同じ

これで肯定側の反論を終わります。

9 **最終弁論プランシート**

【肯定側】

これから肯定側最終弁論を始めます。

はじめに否定側の議論に()点反論し、次にこのディベートをまとめます。

()点目。否定側は反論で()と言いました。しかし、それは違います。なぜなら、()だからです。

()点目。否定側によって反論された点について、再反論いたします。

否定側は反論で肯定側の立論に関して、()と言いました。しかし、それは違います。なぜなら、()だからです。

最後に、このディベートのまとめを行います。否定側はこのディベートで、()のように主張してきました。それに対して、私たち肯定側は、()のように主張してきました。

このように私たち肯定側の主張が正しいことがお分かりいただけたと思います。これで肯定側の最終弁論を終わります。ありがとうございました。

審査カード (肯定チーム)

5点満点で記入ください。

		(1)立論	(2)反論 1	(3)反論 2	(4)最終弁論	合計
1	調査と分析は充分であったか。					
2	根拠のある主張だったか。					
3	議論の構成と配列は適当だったか。					
4	聞き取りやすい話し方をしていたか。					
5	反則行為はなかったか。					
合計						